

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
2／70	高1年 1名		Tutti+

			(知及技) 知識及び技能	曲名や曲想と音楽のつくりについて気付くとともに、音楽表現を楽しむために必要な身体表現、器楽、歌唱、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。(小3段階)			
年間目標			(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	音楽表現に対する思いをもつことや、曲や演奏の楽しさを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。(小3段階)			
			(学・人) 学びに向かう力、人間性	音や音楽に楽しく関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、身の回りの様々な音楽に興味を持つとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。(小3段階)			
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
1 学期	4月	4	(知及技) 校歌を覚える。	(知・技) 校歌を覚えている。	・スタート 高校音楽！	・発声練習 ・メロディーの学習 ・歌詞の学習(プリント)	国語
	5月	8	(知及技) 豊かな歌声をつくるための発声法や言葉の特徴を生かした表現力を身に付ける。	(知・技) 豊かな歌声をつくるための発声法や言葉の特徴を生かした表現力を身に付けようとしている。	・声の世界	・発声練習 ・歌唱練習(夢の世界を)	国語、数学
	6月	8	(知及技) 三線の基本的な奏法を身に付け、郷土の音楽への関心を高める。	(知・技) 三線の基本的な奏法を身に付け、郷土の音楽への関心を高めようとしている。	・郷土の音楽	・構え方について ・エエ四について ・基礎練習(メソッド) ・安波節(古典曲)の学習 ・三線文化について	国語、社会
	7月	4	(思判表力) オーケストラの作品やミュージカルを鑑賞し、場面に応じた音楽の効果や構造を知る。	(思・判・表) オーケストラの作品やミュージカルを鑑賞し、場面に応じた音楽の効果や構造を知っている。	・舞台芸術の世界 鑑賞「レミゼラブル」	・鑑賞「レミゼラブル」 ワークシート記入(感じたこと、考えたこと)	国語、社会
2 学期	9月	8	(知及技) 民族音楽の種類や歴史・文化的な背景を知る。	(知・技) 民族音楽の種類や歴史・文化的な背景を知っている。	・民族音楽 「O sole mio」(イタリア歌曲)	・イタリア語の発音 ・リズムの特徴 ・ベルカント唱法について	国語、数学、社会
	10月	8	(思判表力) 全身で協力して作り上げる合唱の充実感を味わう。	(思・判・表) 全身で協力して作り上げる合唱の充実感を味わおうとしている。	・混声合唱の響きを求めて 合唱曲「ふるさと」等	・各声部の特徴について 旋律の重なり方について	国語
	11月	8	(知及技) 西洋、日本の音楽の流れや音楽家の時代背景を調べ、レポートにまとめる。	(知・技) 西洋、日本の音楽の流れや音楽家の時代背景を調べ、レポートにまとめている。	・音楽史	・日本音楽史(プリント・鑑賞) ・西洋音楽史(プリント・鑑賞)	国語、社会
	12月	6	(知及技) 年末に演奏される楽曲にふれ、音楽文化を知る。	(知・技) 年末に演奏される楽曲にふれ、音楽文化を知ろうとしている。	・季節の音楽 ミュージックベル	・ミュージックベルの奏法について ・演奏(実技)	社会
3 学期	1月	4	(思判表力) リズムや楽器の組み合わせを工夫し、表現を工夫する。	(思・判・表) リズムや楽器の組み合わせを工夫し、表現を工夫しようとしている。	・アンサンブルの楽しみ	・担当楽器の練習	社会
	2月	8	(思判表力) リズムや楽器の組み合わせを工夫し、表現を工夫する。	(思・判・表) リズムや楽器の組み合わせを工夫し、表現を工夫しようとしている。	・アンサンブルの楽しみ	・他のパートとの関わり ・共通のテンポ	国語、数学
	3月	4	(学・人) 1年間の振り返りと反省を行い、今後の生活にいかす。	(主学) 1年間の振り返りと反省を行い、今後の生活にいかそうとしている。	・学年のまとめ	・学習のまとめ ・思い出、感想	国語
留意点 引継等							
評価方法			・三観点の確認 ・提出物の状況 ・授業(実技、実習を含む)に対する取組姿勢 ・実技テスト ・単元テスト ・小テスト ・課題の処理意欲、態度 ・理解度、習得度				